

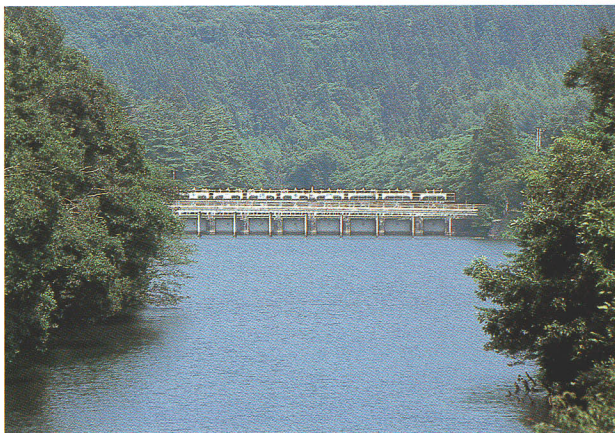
TOWN CONCEPT②豊かな文化と人づくりを目指すまち

## 豊かな水源が美しい自然をつくり 農業、工業、環境も生活も 水に始まり水とともに暮らす河東町

河東町は古い歴史と、会津盆地を一望する自然景観に恵まれた町です。猪苗代湖を源とする日橋川の流れに沿って開けた水田単作地帯。大正4年に当時世界第3位の猪苗代湖第1発電所が運転を開始、続いて第2、第3、日橋川の発電所がつくられ昭和の初期は全国有数の電源村となった。

この電力で工場も進出、農業、工業、観光と環境整備が早くから開発されました。

21世紀に向かって、さらに「町民が豊かになれる郷土を」めざして全力を尽くしています。



ファン・ドールンの像

内務省に土木技師として招かれたファン・ドールンは、明治9年内務卿大久保利通の命を受け、安積地方一帯の原野に猪苗代湖の水を引く開田設計をしました。